

現在、午前8時10分。雨のスタートとなりました。

3年保護者会の最終日。足元が悪くなりましたが、ご来校お待ちしております。

「愛語」という言葉があります。口から出てくる言葉を愛するという意味です。

もともとは禅宗の言葉ですが、これを実践に移そうと強く意識していた僧侶の一人に、良寛さんがおられます。良寛さんはいつも、次のようなことを考えておられたそうです。

「自分の口から出てくる言葉は常に人を安らげるものでありたい。

人を力づけるものでありたい。人を励ますものでありたい。

人を明るい気持ちにさせるものでありたい。

自分の口から出てくる言葉は常に贈り物でありたい。

人を勇気づける贈り物でありたい。」

私の場合、意識を高めても、適切な言葉となって口から出て来てはくれません。でも、良寛さんを見習いながら、大切な贈り物を届けようという気持ちで、言葉を発したいと思います。